TW08A-55Z8

ユーザーズガイド（取扱説明書）

◀画面で読むマニュアル▶

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書（ユーザーズガイド）では、本機を使うための説明を掲載しています。
本書はあらかじめ印刷して保管しておくことをお勧めいたします。
別冊のセットアップガイドでは、梱包箱を開けてから、必要な機器を接続してWindows のセットアップを終了するまでの手順を説明しています。
本機を正しくお使いいただくためにも、必ずセットアップガイドからお読みください。

ONKYO

本書の読みかた

本書で使用しているマークについて

本書では次のマークを使用しています。

マーク	説明
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および、物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。
	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
☞ 参照ページ	機能の詳細を別のページやWebサイトで紹介、または説明していることを示します。必要に応じて参照してください。

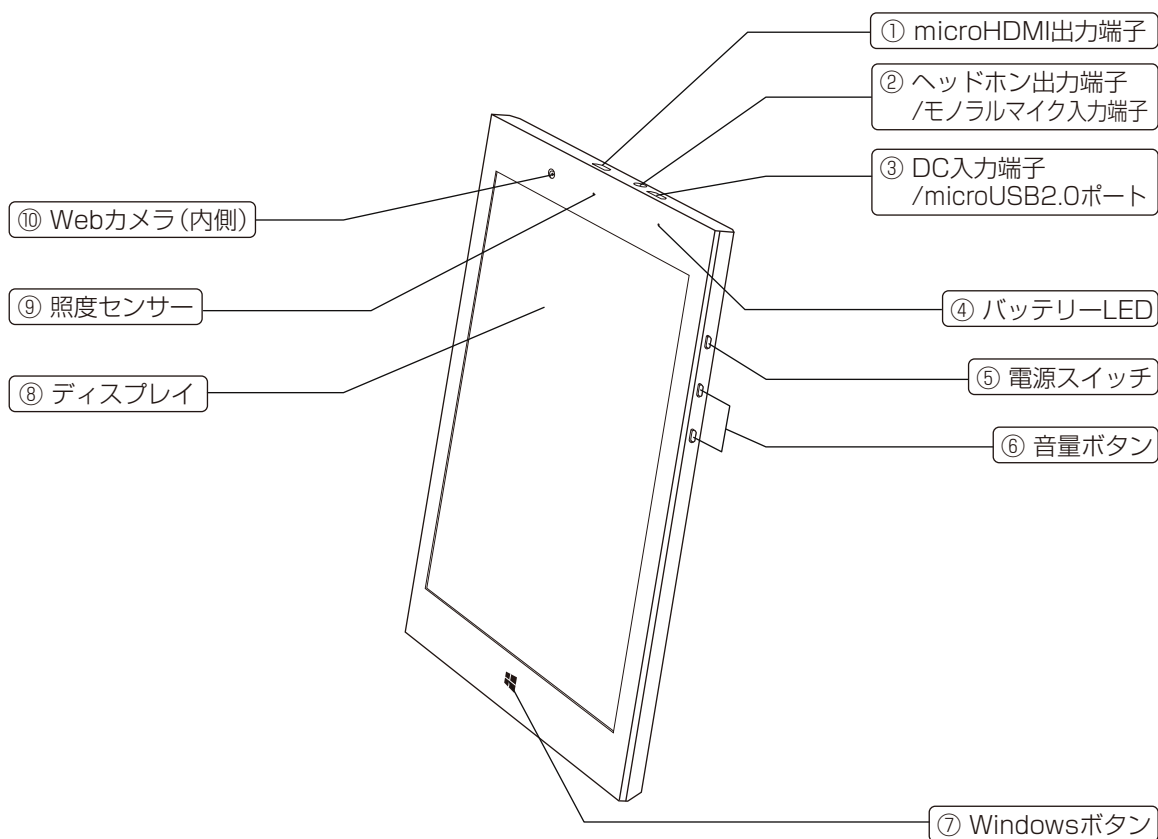
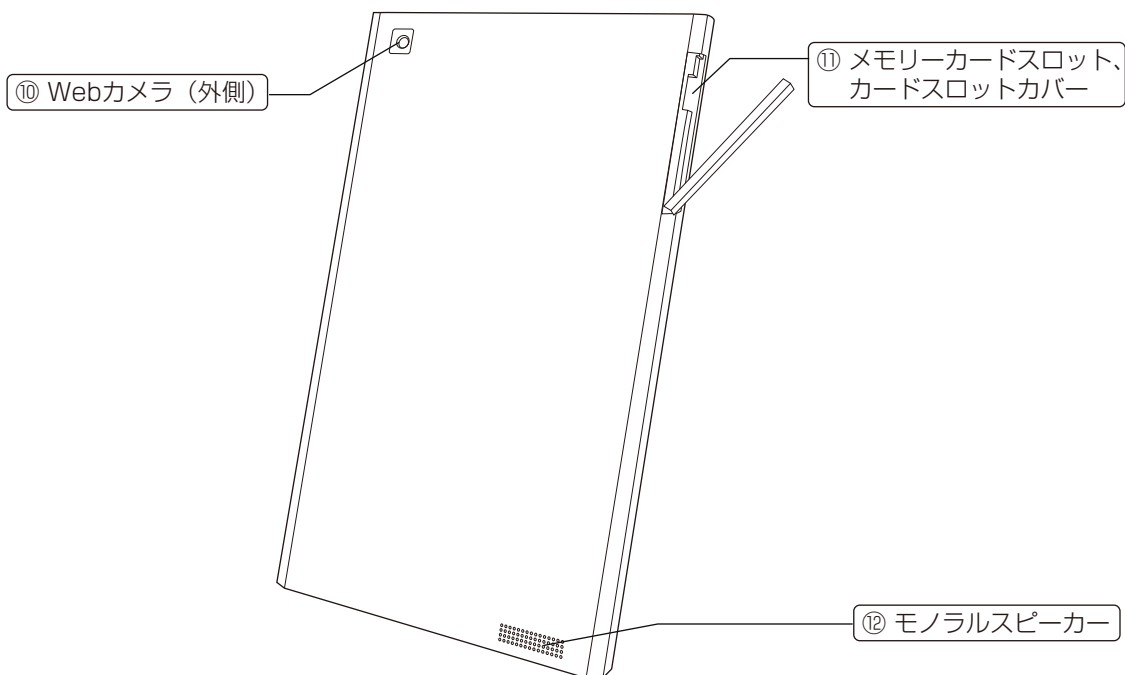
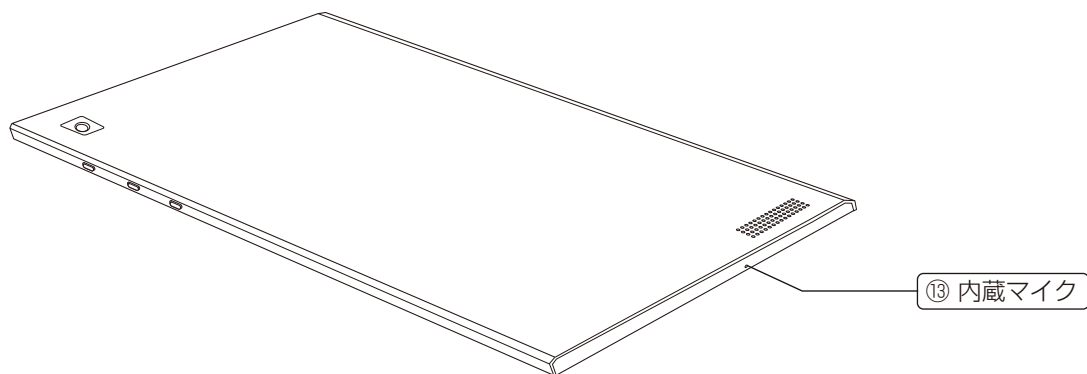
※1：重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。
※2：傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。
※3：物的損害とは、本機の損害、および家屋・家財・ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

名称と機能

各部の名称と機能

本体各部の名前とその機能について説明しています。
各部の詳細な説明、および周辺機器との接続方法については、別のページで詳しく説明している部分もありますので、あわせてお読みください。

製品の詳しい仕様およびその他の情報は、当社Webサイトからご参照いただけます。
☞ http://pc-support.jp.onkyo.com/pds/spec_search.aspx
※製品の型番は本体背面の印字を確認してください。

まえ/みぎ/うえ

うしろ/ひだり

した

① microHDMI出力端子（HDMI TypeD）
HDMI端子付きの外部ディスプレイやテレビへ接続します。
接続する外部ディスプレイやテレビに合わせて市販のHDMI接続ケーブルをご用意ください。

② ヘッドホン出力端子/モノラルマイク入力端子
ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンとマイクが一体になった4極ミニプラグのマイク付きヘッドセットも使用できます。

・4 極ミニプラグのマイク付きヘッドセットはCTIA とOMTPという2種類の規格があります。
本製品はCTIA準拠です。OMTP準拠のヘッドセットは使用できません。
・一般的に市販されているマイク機能のみを持ったマイクロフォンは使用できません。

③ DC入力端子/microUSB2.0ポート（USB micro-B）
・付属の電源用USBケーブルで専用ACアダプターを接続します。
・USB機器を接続します。データ転送速度はUSB2.0 準拠です。
USB機器の接続は、付属のUSBプラグ変換ケーブル（Type Aソケット → micro-Bプラグ）をご利用ください。

・付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。
・ACアダプターの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプターが発熱し、火災を起こす恐れがあります。

④ バッテリーLED
バッテリーの充電状態を表示します。

⑤ 電源スイッチ
本機の電源をONします。
電源ON時に押すと、スタンバイ状態になります。
電源ON時に約2秒間長押しすると、シャットダウン画面に進みます。

・電源をシャットダウンしたあとに再度電源をONするときは、5秒以上待ってから操作してください。

⑥ 音量ボタン
音量を調節します。＋を押すと音量が上がります。－を押すと音量が下がります。

⑦ Windowsボタン
「スタート画面」に戻したり、画面の切り替えをおこなうボタンです。

⑧ ディスプレイ
文字や図形、動画などを表示します。

⑨ 照度センサー
周囲の明るさにあわせて、ディスプレイの明るさを自動調整するためのセンサーです。

⑩ Webカメラ
静止画や動画が撮影できるカメラです。

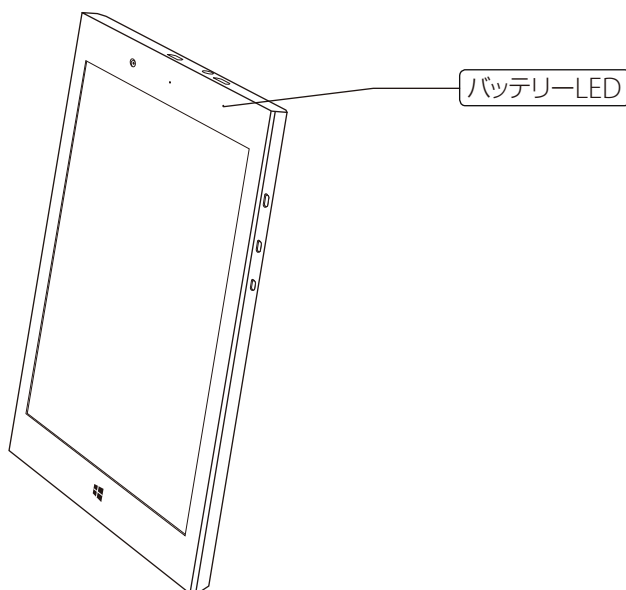
⑪ メモリーカードスロット、カードスロットカバー
カードスロットカバーの溝に爪をかけ、手前に開きます。
以下のメモリーカードを挿し込みます。
・microSDメモリーカード　・microSDHCメモリーカード　（最大32GBまで）

・カードスロットカバーの下側にあるヒンジ部は、本体からはずれません。
・カードスロットカバーは強くひっぱらないでください。強くひっぱると破損する恐れがあります。
・カードスロットカバーはメモリーカードの着脱時以外は閉じてください。
・メモリーカードにはそれぞれ挿し込む向きがあります。方向を確認して、正しく挿し込んでください。
・「SDカード」または「miniSDカード」など、一覧に記載のない種類のカードは、本機に直接挿し込むことはできません。メモリーカードを本機に挿し込む前に、種類を確認してください。

⑫ モノラルスピーカー
Windowsのシステム音や、マルチメディアを使用したときの音声が出力されます。

⑬ 内蔵マイク
本機に音声を入力します。

バッテリーの状態の確認

本機のバッテリーの状態は、バッテリーLEDで確認できます。

いったん満充電になったバッテリーは、残量が98%以下にならないと、充電が始まりません。

バッテリーLEDの表示とバッテリーの状態

状　態	内　容
点灯（赤）	バッテリーは充電中の状態です。満充電になると消灯します。

バッテリーの残量が少ない状態でアプリケーションソフトの操作を続けると、データやプログラムファイルが消えるなどの不具合が発生する恐れがあります。
バッテリーの残量がすべて無くなると、アプリケーションソフトの使用中でも電源がOFFになります。バッテリーの低残量を知らせる警告が出たら、すぐにデータを保存してください。

基本的な操作方法

タッチパネルの操作について

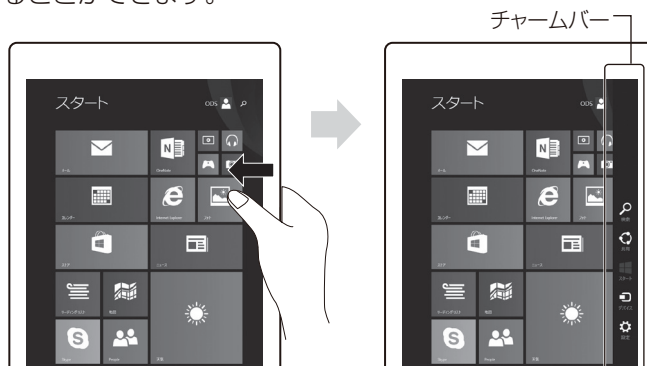
Windows 8.1では、タッチパネルの操作について以下の用語が使われています。

■タップ 項目に1回触れます（タップ）。項目にすばやく2回連続して触れます（ダブルタップ）。 タップした項目を開いたり、選んだり、アクティブ化します。 マウスでクリックすることと同じです。	タップ
■長押し 指を押し付けて約1秒間そのままにします。 項目の詳細情報が表示されるか、状況に応じてメニューがひらきます。 「モダンUI画面」のスタート画面ではタイルを長押しすると、タイルの並び替えやサイズ変更、ピン留めができます。マウスで右クリックすることと同じです。	
■ピンチまたはストレッチによるズーム 2本以上の指で画面または項目をタッチし、指を互いに近づけたり（ピンチ）、遠ざけます（ストレッチ）。 画像や地図などで表示が拡大/縮小されます。	ピンチ　ストレッチ
■スライドによるスクロール 画面上に指を置いたままドラッグします（スライド）。 画面の表示内容が移動します。マウスでスクロールすることと同じです。	スライド
■スライドによる並び替え（ドラッグ） 項目を押してページがスクロールする方向とは別の方向へ短くドラッグし、目的の位置に移動します。項目を新しい場所に移動できたら指をはなします。 項目が移動します。マウスでドラッグすることと同じです。	ドラッグ
■端からのスワイプまたはスライド 画面の外枠から画面内側に向け指をタッチしたままスライドします（スワイプ）。 または画面上に指を置いたままスライドします。 ・画面右側からスワイプしてチャームバーを開きます。 ・画面左側からスワイプして、最近使ったアプリを開きます。最近使ったすべてのアプリ間で切り替えるには、 スワイプし続けます。 （同時にもう1つのアプリを開く）指をはなさずに画面の左端からスライドし、区切り線が表示されるまでアプリをドラッグします。その後、アプリを目的の場所に移動し、区切り線をスライドしてアプリのサイズを調整します。 （最近使ったアプリの一覧を表示する）指をはなさずに画面の左端からスライドし、アプリを画面の左端に押し戻します。 ・上端または下端からスワイプして、新規作成、最新の情報に更新など、現在のアプリ用のコマンドを表示します。 ・指をはなさずに画面の上端から下へスライドして、アプリを画面の下までドラッグし、アプリを閉じます。	スワイプ
■スライドによる選択 ページがスクロールする方向とは別の方向へ短くスライドします。 項目を選びます。場合によってはアプリコマンドが表示されます。	
■回転 2本以上の指を項目の上に置いて回転させます。 回転させた方向に項目が回転します。回転させることのできる項目は限られています。	

チャームバーの表示方法

以下の手順で、「チャームバー」を表示することができます。

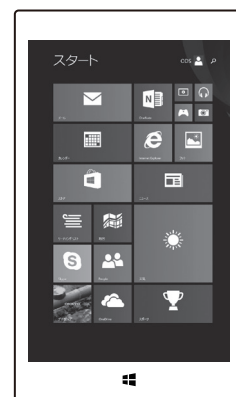
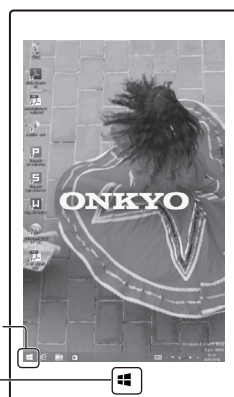
①画面右の外枠から画面内側に向け、
指をタッチしたままスライドします。
（「スワイプ」します。）

画面右側にチャームバーが表示されます。

「モダンUI画面」と「デスクトップ画面」の切り替え

以下の手順で、「モダンUI画面」と「デスクトップ画面」との切り替えができます。

■「モダンUI画面」から「デスクトップ画面」への切り替え
「モダンUI画面」のデスクトップタイルまたはチャームバーの中のスタートマークをタップします。

Windows 8.1では、
右の画面状態を
「スタート画面」と
呼んでいます。

■「デスクトップ画面」から「モダンUI画面」への切り替え
本体下にある ボタン（Windowsボタン）にタッチします。または「デスクトップ画面」の
左下にある マーク（Windowsマーク）をタップします。

一度「デスクトップ画面」に切り替えをすると、以降は ボタンへのタッチまたは マークの
タップで「デスクトップ画面」⇔「モダンUI画面」の切り替えができます。

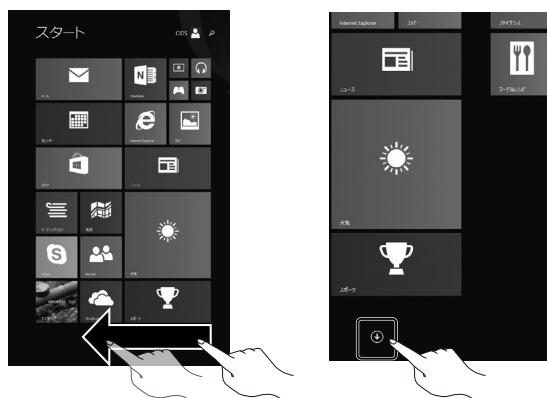
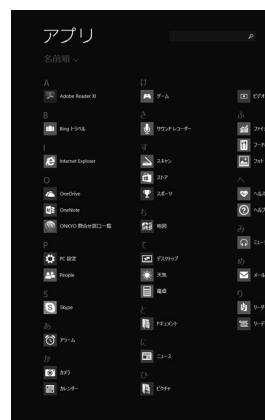
アプリケーションソフト一覧を表示させる方法

以下の手順でアプリケーションソフト（アプリ）の一覧を表示させることができます。

1. 「モダンUI画面」に切り替えます。

2. 画面上の任意の場所に指を置き、画面を左にスライドさせます。
画面の左下に マークが現れます。

3. 画面左下の マークをタップします。

4. すべてのアプリ一覧が表示されます。

「モダンUI画面」にタイルが表示されるアプリは、**ストアアプリ**と呼ばれます。
ストアアプリ以外のアプリは、**デスクトップアプリ**と呼ばれます。

本体下にあるWinowsボタン を押すと「スタート画面」に戻ります。

ソフトウェアキーボードを表示させる方法

デスクトップアプリなどで文字の入力が必要な場合は、ソフトウェアキーボードを表示して入力をおこないます。

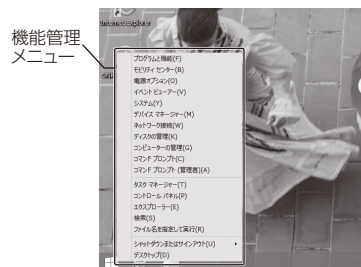
タスクバー（「デスクトップ画面」下部）の キーボードマークをタップします。

機能管理メニューを表示させる方法

以下の手順で、「デスクトップ画面」に機能管理メニューを表示させることができます。

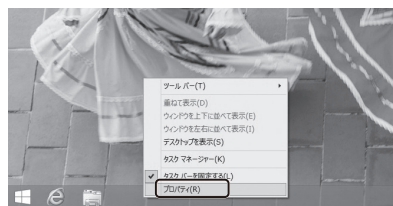
1. **「デスクトップ画面」左下にある マークを長押しします。**

2. **機能管理メニューが表示されます。**

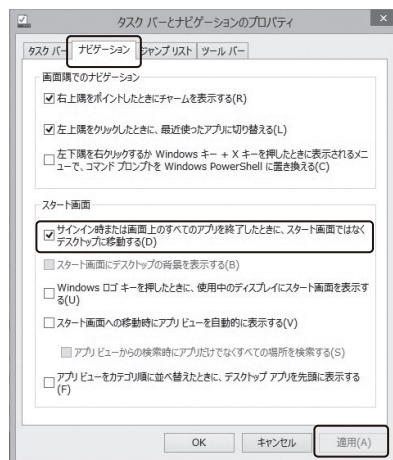
機能を選んでタップし、設定などにすすみます。

起動した時に「デスクトップ画面」を表示させる方法

以下の手順で、起動時に「デスクトップ画面」を表示させることができます。
（出荷時は「モダンUI画面」に設定されています。）

1. **タスクバー（「デスクトップ画面」下部）を長押しし、「プロパティ」をタップします。**

【タスクバーとナビゲーションプロパティ】ダイアログが表示されます。

2. **「ナビゲーション」タブをタップします。**

3. **[スタート画面] の右図の場所にチェックを入れ、[適用」→[OK] をタップします。**

・出荷時設定ではチェックが入っていません。
・起動時に「モダンUI画面」を表示させるにはチェックを外します。

各機能のON/OFF

電源のON/OFF

電源をON/OFFする方法を説明します。

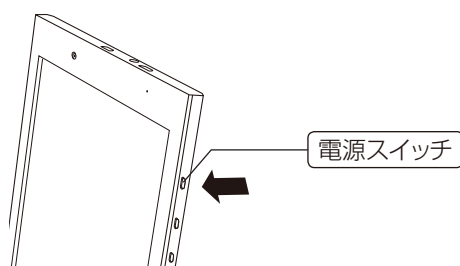
電源のON

本機の電源をONにします。Windowsのセットアップ（☞別冊のセットアップガイド）が終了すれば、次に電源をONにしたとき、そのままWindowsの画面が表示されます。

1. **電源スイッチを押します(2秒以上)。**

しばらくすると、Windowsの画面が表示されます。

※表示される画面は、ご購入いただいた製品によって異なります。

・ロック画面が表示されたら、画面を下から上へスライドします。
・ユーザーアカウントにパスワードを設定している場合は、ログオン画面が表示されます。パスワードを入力して、➡をタップします。

電源のOFF

電源のOFFは、「スタンバイ状態にする」方法と、「シャットダウンする」方法があります。
また、いったん電源をOFFにし、自動的に電源をONにし直す「再起動」も選択できます。

■ スタンバイ状態にする

電源ON時に電源スイッチを押すと、スタンバイ状態(*)になります。スタンバイ状態にしておくと、短く電源スイッチを押すだけで瞬時に復帰させることができます。

*スリープともいいます。本機はInstant Go（Connected Stanby）に対応しています。Instant Goとは、スタンバイ時でも断続的に通信をおこない、メールや予定表などをいつでも最新状態に保つ機能です。Skypeなどはスタンバイ時でも着信を知らせてくれるため便利です。スタンバイや復帰を瞬時におこなうので、結果的にバッテリー駆動時間が長持ちするとも言われています。

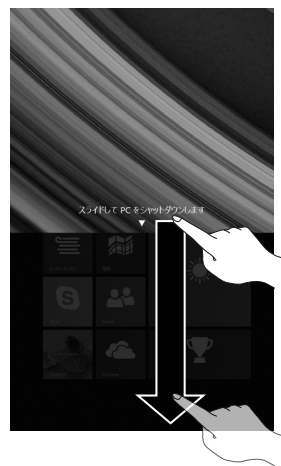
■ シャットダウンする

すべてのソフトウェアを終了させて電源をOFFにする場合は「シャットダウン」を選択します。

1. **電源ON時に電源スイッチを約2秒間長押しします。**

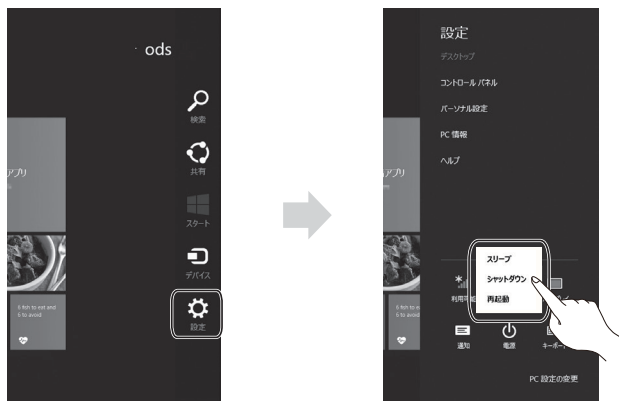
2. **画面の上半分に表示される、「スライドしてPCをシャットダウンします▼」に指を置き、下へスライドさせます。**

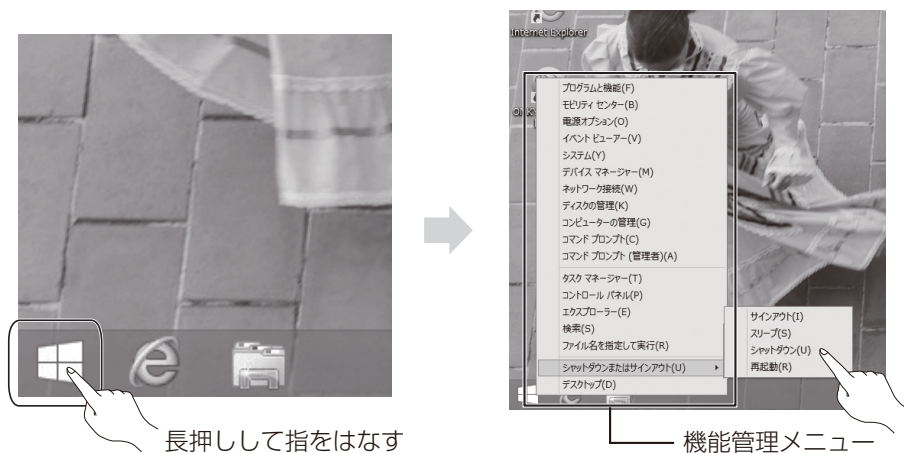
本機の電源が完全にOFFになります。
次回、電源をONにするときは、電源スイッチを押します。

注意

電源ボタンを10秒以上長押しし続けることでも強制的に電源をOFFにできますが、故障の原因になる場合がありますので、やむを得ない場合以外はおこなわないでください。

以下の方法でも「シャットダウン」をおこなうことができます。
また、「再起動」「スリープ（スタンバイ）」の選択も可能です。

・チャームバーから「シャットダウン」する。

チャームバーの中にあるアイコンを「設定」→「電源」→「シャットダウン」の順にタップします。

・「デスクトップ画面」から「シャットダウン」する。

「デスクトップ画面」のタスクバーにある マークの長押しで表示される機能管理メニューを「シャットダウンまたはサインアウト」→「シャットダウン」の順にタップします。

ワイヤレスLAN、Bluetooth機能のON/OFF

ワイヤレスLAN、Bluetoothの機能をON/OFFする方法を説明します。

ワイヤレスLANのON/OFF

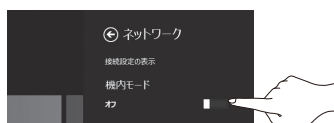
初期状態はONになっています。

1. チャームバーを開き、「設定」→ をタップします。

2. 「ネットワーク」の一覧から、使用するワイヤレスネットワーク（アクセスポイント）を選んでタップします。

3. 画面に表示される[接続]ボタンをタップしてONにします。

OFFにする場合は「ネットワーク」→「Wi-Fi　オフ」をタップします。

ワイヤレスLANやBlu etooth機能は、機内モードを「オン」にすることでOFFにすることができます。

Bluetooth の ON/OFF

1. チャームバーを開き、「設定」→「PC設定の変更」をタップします。

2. 「PCとデバイス」の一覧から「Bluetooth」をタップ、「Bluetoothデバイスの管理」でオンオフを切り替えます。

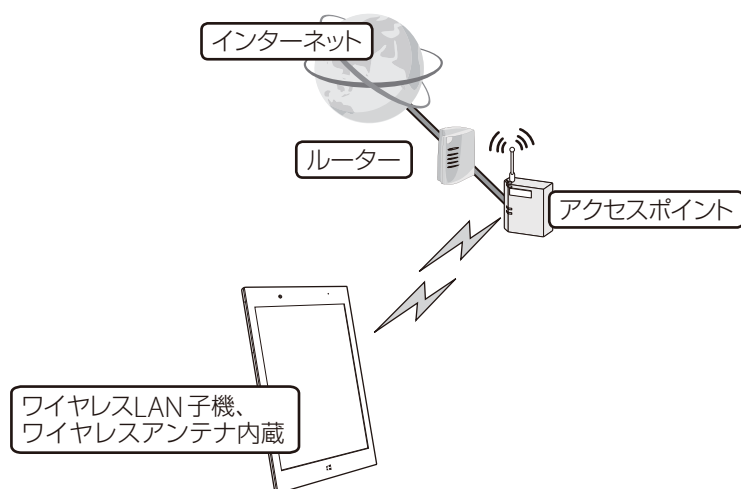
注 意

飛行機の中など電波の使用が制限されている場所では、指示に従って必ずワイヤレスLANやBluetooth機能をOFFにするか、機内モードを「オン」にしてください。

ワイヤレスLANの使用

ワイヤレスLANの機能と設定方法を説明します。

ワイヤレスLANとは

ワイヤレスLANとは、LANケーブルを使わないで、無線通信でデータをやり取りするLANのことです。「アクセスポイント」と呼ばれる中継機器や市販のワイヤレスLAN 親機を介して、ワイヤレスで構内ネットワークやインターネットに接続できます。

セキュリティーに関するご注意

ワイヤレスLANでは、電波で情報のやり取りをおこなうため、セキュリティーに関する設定をおこなっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

■ 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見られる可能性があります。
・IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容

■ 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、次のような行為をされてしまう可能性があります。
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

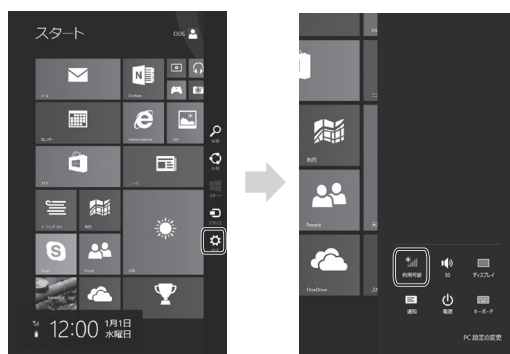
セキュリティーの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定をおこない、ワイヤレスLANを使用してください。

ワイヤレスLANの設定

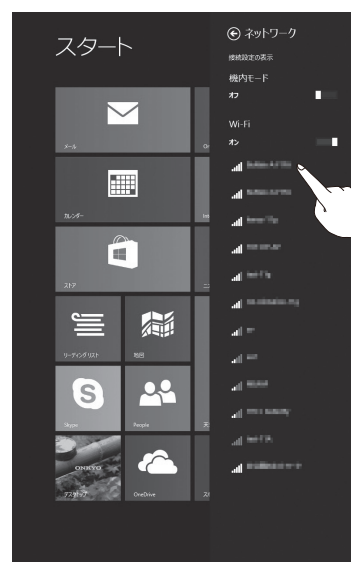
■ 自動認識での設定

1. **チャームバーを開き、「設定」をタップします。**

2. **画面右下に表示された アイコンをタップします。**

ネットワークの一覧が表示されます。

3. **ネットワークの一覧から、使用するワイヤレスネットワーク（アクセスポイント）を選択して、[接続] ボタンをタップします。**

セキュリティキーが設定されている場合、キーの入力画面が表示されます。

- セキュリティキーが設定されていないアクセスポイントは、そのままワイヤレスLANに接続されます。
- 一覧に接続可能なネットワーク（アクセスポイント）が表示されない場合は をタップします。

4. **「セキュリティキー」を入力して、[次へ] ボタンをタップします。**

本機がワイヤレスLANに接続されます。

別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

■ 手動での設定

1. **チャームバーを開き、「設定」→「PC設定の変更」→「コントロールパネル」をタップします。**

2. **「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」をタップします。**

【ネットワークと共有センター】ウィンドウが表示されます。

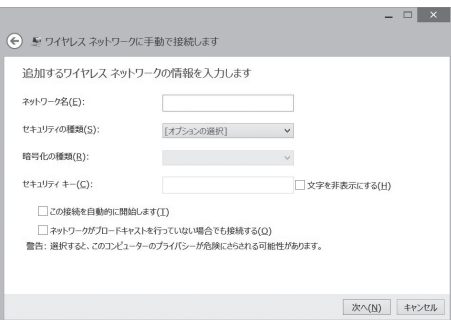
3. **「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をタップします。**

【接続またはネットワークのセットアップ】ダイアログが表示されます。

4. **「接続オプションを選択します」の一覧から「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して、[次へ] ボタンをタップします。**

【ワイヤレスネットワークに手動で接続します】ウィンドウが表示されます。

5. **接続したいアクセスポイントの「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」、「セキュリティキー」をそれぞれ入力して、[次へ] ボタンをタップします。**

ネットワークの一覧が表示されます。

6. **「自動認識での設定」の手順3〜4 と同じ操作を実行します。**

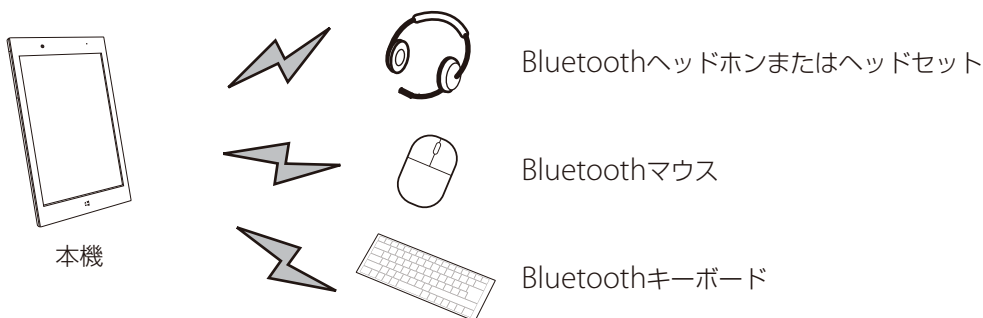
別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

Bluetoothの使用

Bluetoothの機能と設定方法を説明します。

Bluetoothとは

Bluetooth機能を使うと、Bluetoothに対応するパソコンやタブレットと、ヘッドホン、キーボードなどの製品間で、ケーブルを使わず直接音声やデータの交換ができます。Bluetoothは、2.4GHzの帯域で動作し、半径10～100メートル程度の比較的狭い範囲で通信します。本機のBluetooth機能は、半径10メートル程度の範囲で使用します。
Bluetooth機能は、相手機器とのペアリングをおこなったうえで使用します。

- Bluetooth対応機器は、市販のものをお買い求めください。
- ヘッドホンやキーボードなど、Bluetooth対応機器の操作方法は、各Bluetooth対応機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

Bluetoothの設定

Bluetoothの接続方法は、次のとおりです。ここでは例として、別売のBluetooth対応キーボードとの接続を例にとって説明します。

■ ペアリングを設定する

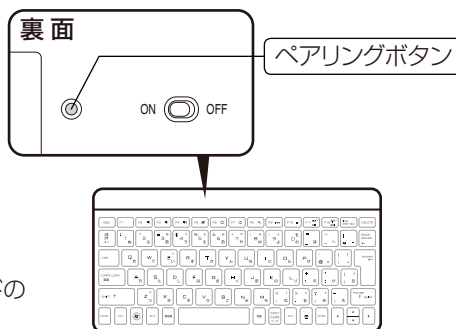
Bluetooth対応の機器同士が接続できる状態にすることを、「ペアリング」と呼びます。一度ペアリングした機器は、再度ペアリングの設定をする必要はありません。
ここでは、ペアリングの設定方法を説明します。

1. Bluetooth機能をONにします。

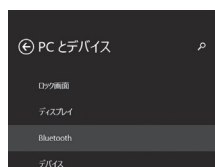
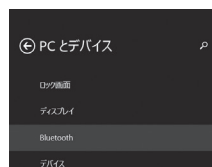
チャームバーを開き、「設定」→「PC設定の変更」をタップします。
「PCとデバイス」の一覧から「Bluetooth」をタップしてオンにします。

2. **Bluetooth機器にあるペアリングボタンを押します。**

キーボードがペアリングモードになります。

ペアリングモードになると、キーボードの"ペアリングLED"が点滅します。

※イラストはBluetoothキーボードの例です。

3. **追加するデバイス（Bluetooth機器名）を選択し、[ペアリング]ボタンをタップします。**

デバイスのパスキー（パスワード、PINコードなどとも呼ばれます。）の入力を求められたら、入力します。

Bluetoothキーボードを接続する際、画面にペアリングコードが表示されたら、接続するキーボードを使用してペアリングコードを入力してください。

これで設定は完了です。

ペアリングをおこなった後でも、起動、再起動、スタンバイからの復帰後などはBluetooth機器の再認識に10秒程度の時間がかかります。再認識されるまで待ってから、機器を操作してください。

Bluetoothを使わないときは、Bluetoothの機能をOFFにしてください。他の通信機器に障害が発生したり、第三者に不正アクセスされるおそれがあります。

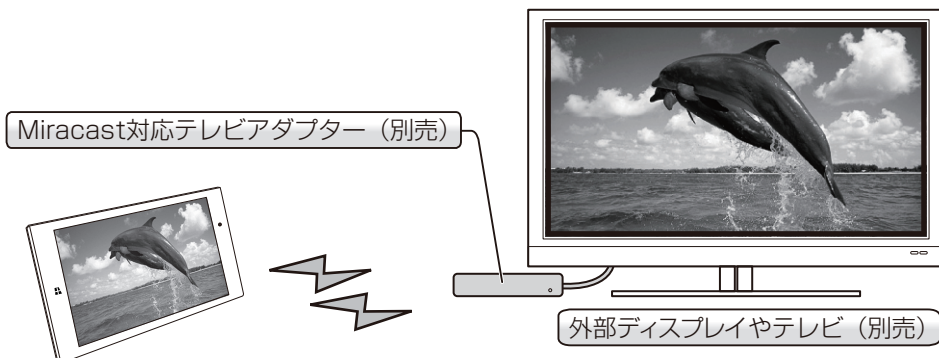
Bluetoothを使ってデータを送受信しているときは、接続を切断しないでください。データが破損するおそれがあります。

名称と機能
各機能のON／OFF
使用する
トラブルの対応

Miracastの使用

Miracast（ミラキャスト）とは、本機のディスプレイに表示されている内容を、Miracast対応テレビアダプター（別売）を通じて、ワイヤレスで外部ディスプレイやテレビに表示する機能です。

Miracastを使用するには

本機とMiracast対応テレビアダプターの間は、直接ワイヤレスで通信されます。

1. 「Miracast対応アダプター」（以下アダプター）と外部ディスプレイを接続し、両方の電源をONにします。

2. 本機のチャームバーを開き、「設定」→「PC設定の変更」をタップします。

3. 「PCとデバイス」→「デバイス」→「デバイスを追加する」をタップします。

4. 1.で準備したアダプター名が表示されますので、タップします。
接続処理がおこなわれます。

接続直後はクローンモード（複製）となっています。
チャームバーを開き、「デバイス」→「表示」をタップすると、接続モードの切り替え/接続/切断処理ができます。

本機のディスプレイ表示と、外部ディスプレイやテレビの表示には、わずかな時間差が発生します。これは、ワイヤレス通信を介した映像表示に時間がかかるためで不具合ではありません。

お使いになるうえでの注意

・保護されたコンテンツの映像および音声の再生に対応しているアダプターをご用意ください。
なお、本機のミラキャスト機能は、すべてのアダプターとの通信を保証するものではありません。
・アダプターと再生ディスプレイとの接続にはHDMI接続が必須の場合があります。
（別途ご用意いただくアダプターの仕様に準じます）
・解像度の低いパソコン用ディスプレイ、テレビでは再生できないことがあります。

USB対応機器の使用

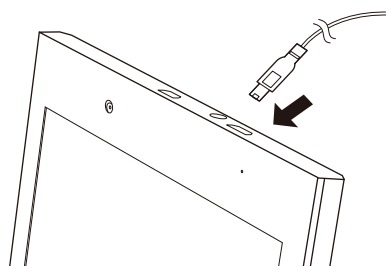
USBポートには、さまざまなUSB機器を接続して利用することができます。ここでは、本機の電源をONにした状態で、USB対応の周辺機器を接続する方法について説明します。

接続時の注意事項

・接続前に、デバイスドライバーのインストールが必要なUSB機器があります。
・本機には、標準サイズのUSBプラグ（Type A）をmicroUSBプラグ（micro-B）に変換するUSBプラグ変換ケーブルを付属していますのでご利用ください。
・本機のUSBポートは、充電ポートを兼ねていますので、充電中はUSB機器の接続ができません。
・USBポートの数が足りないときは、市販のUSBハブを接続して、USBポートの数を増やすことができます。

1. **本機のUSBポートに変換ケーブルを差し込み、その先にUSB機器を接続します。**

USB機器の認識音が鳴ります。これでUSB機器が使えるようになります。

接続したUSB機器によっては、このあと、ソフトウェアのインストールなどの作業が必要になります。

・認識されないときは、USBポートからコネクターを一度抜き、3秒以上時間をおいてから、再度差し込んでみてください。
・USB機器に、Windows 8.1対応のデバイスドライバーが付属されていない場合、USB機器をWindows 8.1で使うための専用デバイスドライバーが別途必要になります。
専用デバイスドライバーは、USB機器メーカーのWebサイトなどでご確認ください。
・次回からはUSBポートに接続するだけで、すぐに使用できます。

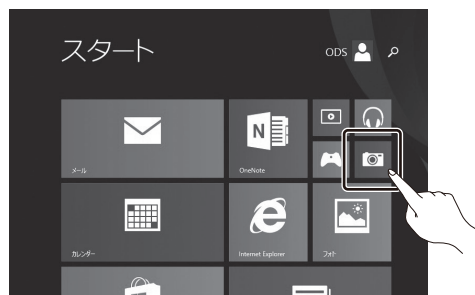
アプリケーションソフトの使用（例：Webカメラを使用するには）

アプリケーションソフト（アプリ）の使用方法を、本機にストアアプリとして搭載されている
Webカメラアプリの使用を例にとって説明します。

Webカメラを使用するには

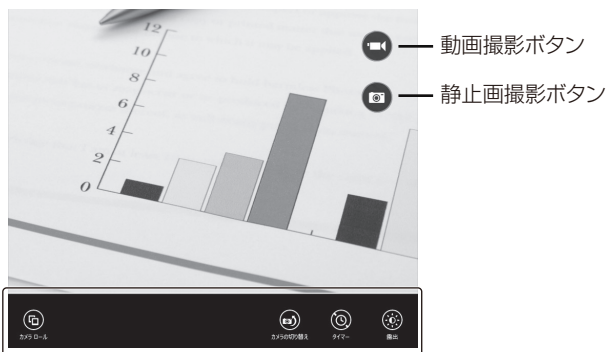
Webカメラを起動します。

1. **「モダンUI画面」に表示されている カメラタイル をタップします。**

Webカメラとカメラアプリが起動します。

ロック画面の上部に指を置き、下へスライドすることでもWebカメラを起動できます。

外側カメラと内側カメラの切り替え

以下の手順で、外側カメラと内側カメラとの切り替えができます。

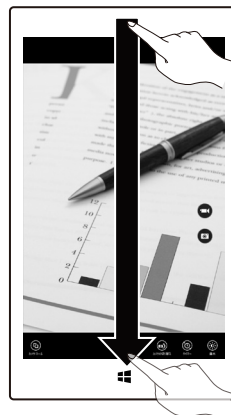
1. カメラを起動中に、画面下からスワイプしアプリコマンドを表示させます。

2. カメラ切り替えアイコン をタップして、カメラを切り替えます。

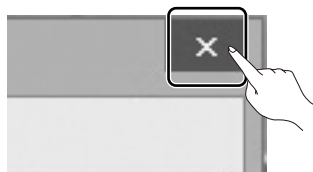
Webカメラを終了する

画面上部の外枠に指を置き、画面の下まで指をスライドします。

Webカメラ機能が終了し、スタート画面に戻ります。

ストアアプリを終了するときは

ストアアプリを終了するときは、画面上部の
外枠に指を置き、画面の下まで指をスライドします。

デスクトップアプリを終了するときは

アプリの右上にある × をタップします。

KINGSOFT Officeの使用

本機にプリインストールされているKINGSOFT Office(永続版)をはじめて使用する際は、以下の手順で「シリアル番号」を入力してください。「シリアル番号」は、付属の「キングソフトオフィス ライセンスカード」に記載されています。

本機のKINGSOFT Officeはマルチライセンス対応です。お手持ちのスマートフォンやタブレット端末で、ライセンスカード記載のQRコードまたはURLからアクセスし、同じシリアル番号を入力すれば、「KINGSOFT Office for Android」や「KINGSOFT Office for iOS」も無料で使用できます。

KINGSOFT Officeを使用するには

1. **「デスクトップ画面」に表示されている、KINGSOFT Officeのいずれかのアイコンをダブルタップします**

シリアル番号の入力は、いずれかをはじめて使用するときの1回だけです。

Kingsoft Presentation　PowerPoint互換
Kingsoft Spreadsheets　Excel互換
Kingsoft Writer　Word互換

2. **【文書のユーザー情報】ウィンドウが表示されます。**

「OK」をタップします。

3. **【シリアル管理】ウィンドウが表示されます。**

「追加」をタップします。

4. **【シリアル番号を入力します】ウィンドウが表示されます。**

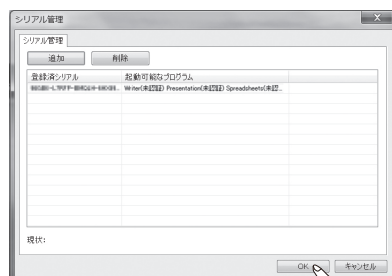
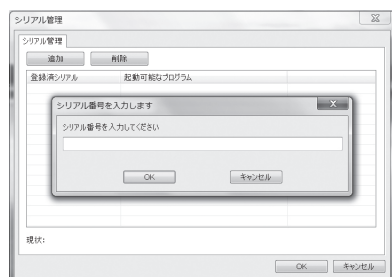
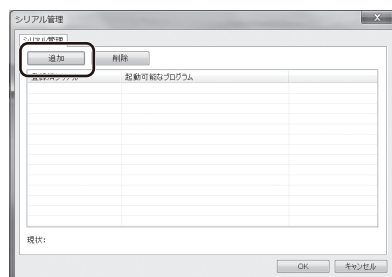
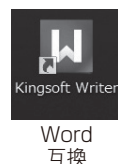
付属の「キングソフトオフィス ライセンスカード」に記載のシリアル番号を入力し、「OK」をタップします。

5. **【シリアル管理】ウィンドウに戻ります。**

「OK」をタップします。

シリアル番号登録後、「デスクトップ画面」にあるKINGSOFT Officeの各アイコンをダブルタップすることで使用開始できます。

- 「シリアル管理」の画面でシリアル番号入力直後は「未認証」と表示されますが、再起動後「有効」に変わります。
- 一度シリアル番号の登録をしたあとは、アプリケーションの使用ごとにシリアル番号を入力をする必要はありません。

トラブルの対応

おかしいなと思ったら

本機のご使用中にトラブルが発生したり、疑問に感じたことがあれば、あわてずに次の項目をチェックしながら対処してください。

まずはじめに

あわてて対処しないでください。
トラブルが発生したと思ったら、パソコンをそのままの状態で1分くらい放置してください。
すぐに電源を切ったり、たたいたりしないでください。

1 本書で該当する項目を探しましょう

☞「よくある質問集」
パソコンの電源がONにならないなどの「故障かな」と思うような問題が発生した場合に、まずは確認してください。

2 オンライン情報から該当する項目を探しましょう

☞「パソコンで調べる」
本書以外にも、当社Webサイト「オンラインサポート」や、Microsoft社のWebサイト「マイクロソフト サポート オンライン」に、トラブル解決のためのQ&Aが掲載されています。
Windows 8.1 およびアプリケーションソフトのヘルプも活用してください。

3 パソコンを購入時の状態に戻しましょう

☞「リカバリーの準備」（本書）、「リカバリーの方法」（本書、セットアップガイド）
本機をご購入時の状態に戻します。（この作業をリカバリーといいます）
リカバリーの前に、必要なデータや設定情報のバックアップを取ってください。

4 オンキヨーPCカスタマーセンターに連絡しましょう

以上の方法でどうしても解決できないときは、オンキヨーPCカスタマーセンターに連絡してください。
お電話の前に、セットアップガイドの「修理のお申込み」などをよくお読みになり、注意事項などを確認してください。

パソコンで調べる

本書以外にも、次のWebサイトおよびヘルプをご参照ください。トラブル解決のための情報が提供されています。

■ 問合せ窓口一覧
(デスクトップ画面上の[ONKYO 問合せ窓口一覧]アイコンをダブルタップ)

当社への問合せ先、および各種アプリケーションソフトの問合せ先を掲載しています。

■ マイクロソフト サポート オンライン

(http://support.microsoft.com/)

Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムも、このWebサイトからダウンロードできます。

■ オンキヨーPCオンラインサポート

(http://pc-support.jp.onkyo.com/)

弊社製品の仕様の公開や、オンキヨーPCカスタマーセンターに寄せられる質問などを掲載しています。各製品のドライバーおよびプログラムも、このページからダウンロードできます。

よくある質問集

本機の電源をONにしても、Windowsが正しく起動しないとき、まずはここに記載している項目を確認してください。

1 パソコンの電源はONになりますか?

いいえ

●ONになりません(☞次ページ以降を参照)

ONになります

2 Windowsは起動しますか?

いいえ

●セーフモードで起動します
●起動しません
(☞次ページ以降を参照)

正常に起動します

3 Windowsの画面は表示されますか?

いいえ

●表示されますが、正常ではありません
●セーフモードで表示されます
(☞次ページ以降を参照)

正常に表示されます

その他、Windowsの操作中におこるトラブルや質問は、・・・・
オンキヨーPCカスタマーセンターまでご連絡ください。

パソコンを起動する前に

Q.1 海外のコンセントに接続して使用できるか

A. ・AC電源が100V～240Vまでの間であれば使用できます（プラグの形状が異なる場合、変換プラグが必要）。必ず付属のACアダプターを使用してください。
ただし、日本国外で本機を使用される場合は、サポート対象外となります。

Q.2 電源スイッチを押しても動かない

A ・ACアダプターは正しく接続されていますか？
ACアダプターのプラグが本機と正しく接続されているか、ACアダプターの電源プラグが電源コンセントに正しく接続されているかをご確認ください。

・バッテリーは十分に充電されていますか？
ACアダプターを接続して、バッテリーを充電してからご使用ください。

・ACアダプターが故障している可能性があります。
他の電気製品を本機が接続されている電源コンセントに接続して、他の電気製品が動くかどうかご確認ください。他の電気製品が正常に動くようであれば、ACアダプターが故障している可能性があります。オンキヨーPCカスタマーセンターへお問い合せください。

・本機が故障していることがあります。
オンキヨーPCカスタマーセンターへお問い合せください。

Q.3 画面に何も表示されない

A ・本機の電源はONになっていますか？
本機の電源スイッチをONにしてください。

・表示モードの設定が外部ディスプレイになっており、外部ディスプレイの電源がOFFになっていませんか？
本機の電源をONにし直してから再度、外部ディスプレイの電源スイッチをONにしてください。

・起動およびスタンバイからの復帰に、時間がかかっている可能性があります。

Q.4 周辺機器を取り付けたらWindowsが起動しない

A ・周辺機器のデバイスドライバーが原因で、Windowsが起動できなくなった可能性があります。本機の電源をOFFにしてから、新しく取り付けた周辺機器を外してください。

Q.5 終了できない

A ・電源スイッチを10秒以上長押しすることにより強制終了することが可能です。
（このようなケース以外は、故障の原因になりますので、電源スイッチを10秒以上長押しすることによる強制終了はおこなわないでください。）

パソコンを使っていたら

■ 画面上のトラブル

表示される日付や時刻が正しくない

A. ・**日付や時刻が間違った設定になっていませんか？**
Windowsのタスクバーの時刻をタップ→「日付と時刻の設定の変更」→［日付と時刻の変更］ボタンをタップして、【日付と時刻の設定】ダイアログを起動します。
【日付と時刻の設定】ダイアログで正しい日付や時刻を設定してください。

・**本機に内蔵されている電池が切れている可能性があります。**
マザーボードに取り付けられているリチウム電池の寿命は、平均2〜3年です。本機の使用期間が2〜3年経過していたら、オンキヨーPCカスタマーセンターに修理依頼をおこなってください。

Q.7

日付の設定を変更しても元に戻ってしまう

A. ・**電池が容量切れになっている可能性があります。**
日付設定などのバックアップ電源として内蔵電池を使用しています。この内蔵電池が容量不足になると、日付設定などのデータ保持ができなくなります。
電池は消耗品ですので、寿命があります。寿命についてはお客様のご使用状況により大きく異なりますが、平均2〜3年です。本機の使用期間が2〜3年経過していたら、オンキヨーPCカスタマーセンターに修理依頼をおこなってください。

■ ディスプレイのトラブル

Q.8 いきなり画面が消えた

A. ・ディスプレイの電源が切れた可能性があります。
本機をしばらく操作せずにいると、画面表示が消える設定になっております。
画面のどこかをタッチしてください。

・スタンバイ状態に入った可能性があります。
画面表示が消えた後、さらに時間が経過すると、スタンバイ状態になります。
電源ボタンをONにしてください。

・ACアダプターのプラグが電源コンセントから外れていませんか？
コンセントまたはプラグを差し込みなおしてください。

・バッテリーが充電されていない可能性があります。
バッテリーを十分に充電してください。

Q.9 画面表示にムラがある

A. ・ディスプレイを見やすい角度に調整してください。
液晶ディスプレイは、周囲の温度などの影響によって表示が変わる特性があります。
ムラがあるのは故障ではありません。

■ マウス、キーボードのトラブル

Q.10 マウスポインターが動作しない

A. ・市販のマウスやキーボードを接続した場合、接続ケーブルが外れている可能性があります。
接続ケーブルを正しく接続してください。それでも動かない場合は、本機を再起動してください。

・市販のマウスやキーボードを接続した場合、本機の電源をONにしたあとにマウスを接続している可能性があります。
一度パソコンの電源をOFFにしてマウスを接続した後、パソコンの電源をONにしてください。

・適正なマウスドライバーを使用していない可能性があります。
市販のマウスを使用する場合は、専用のマウスドライバーが必要なものがあります。
使用するマウスに付属のマウスドライバーを正しくインストールしてください。

Q.11 デバイスマネージャー上で日本語106（109）キーボードが、英語101（102）キーボードと表示されてしまう

A. ・**この現象は、Windows 8.1 のシステムがプラグアンドプレイでキーボードを認識する際に、英語101/102キーボードが指定されているために発生します。**
回避策として、次の方法を試してください。デバイスマネージャーから、次の手順で日本語106/109キーボードに変更します。

①チャームバーを開き、「設定」→「コントロールパネル」→［コンピューターの簡単操作］→［キーボードの動作の変更］を選択して【キーボードを使いやすくします】ダイアログを表示します。

②ダイアログ下部の「キーボード設定」をタップして、【キーボードのプロパティ】ダイアログを表示します。
③［ハードウェア］タブを選択し「101/102英語キーボード」の項目をダブルタップします。
④［設定の変更］ ボタンをタップします。
⑤［ドライバー］タブを選択し、［ドライバーの更新］を選択します。
⑥「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」を選択します。
⑦「コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します」を選択します。
⑧「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外します。
⑨「モデル」欄から「標準PS/2キーボード」を選択して、［次へ］ボタンをタップしてください。
⑩［閉じる］ボタンをタップして、パソコンを再起動します。

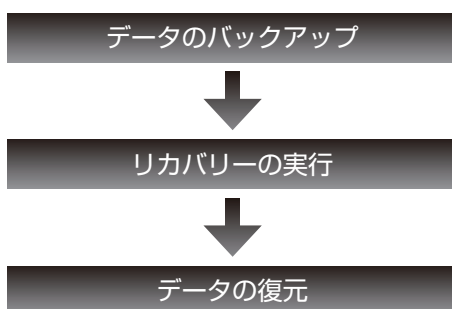
リカバリーについて

リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスク（またはSSD）の内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーの準備

使用していたデータや設定内容をバックアップして、リカバリー後に同じ環境で使えるようにします。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスク（またはSSD）のデータを外部メディア（USBメモリー、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデータを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。

本書では、リカバリーの実行前に、個人で作成したデータをバックアップする方法と、リカバリー後にバックアップしたデータを復元する方法を説明します。

データのバックアップ

ここでは、リカバリーを実行する前に、Internet Explorerやユーザー辞書の設定などのデータを、外部メディアにバックアップする方法を説明します。

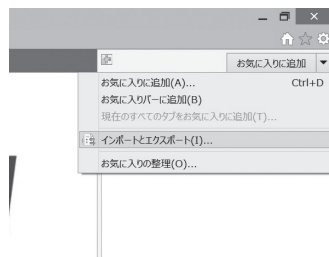
お客様がデスクトップや「ドキュメント」フォルダーに保存したデータについては、あらかじめ外部メディアに保存しておいてください。

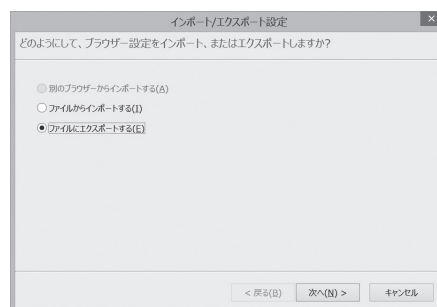
・「Windows 8.1の標準メール」はインターネット上のサーバーにデータが保存されているため、データのバックアップは必要ありません。リカバリーを実行した後に、再度アカウント設定をするとデータが読み込まれます。
・「Windows 8.1の標準メール」以外をご利用の場合、バックアップ方法はメールソフトの取扱説明書などをご参照ください。

■『お気に入り』のバックアップ

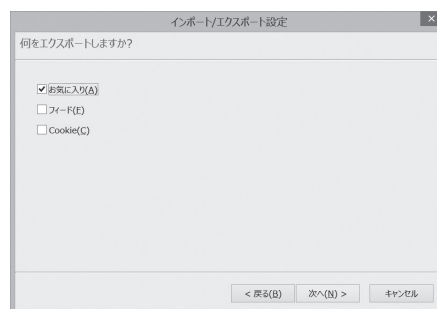
Internet Explorerの『お気に入り』のバックアップを作成します。

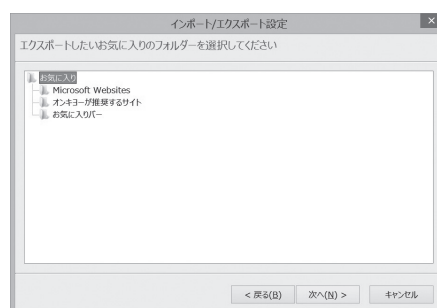
1. **Internet Explorerが起動した状態で、☆ボタンをタップし、お気に入りに追加 ▼ の ▼ をタップして表示されるメニューから［インポートおよびエクスポート］を選択します。**

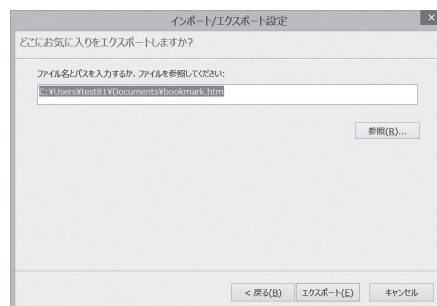
【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。

2. **［ファイルにエクスポートする］を選択して、［次へ］ボタンをタップします。**

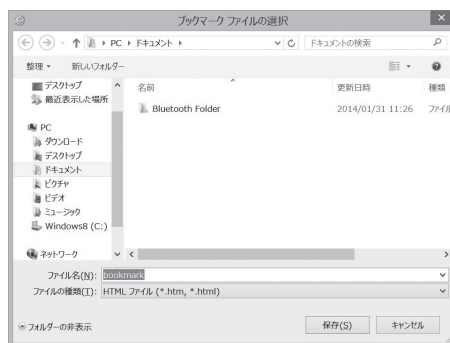
【何をエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。

3. **［お気に入り］をチェックして、［次へ］ボタンをタップします。**

【お気に入りのエクスポート元フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。

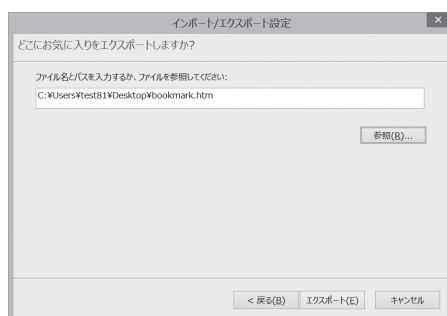
「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをエクスポートできます。

4. **「お気に入り」フォルダーを選択して、［次へ］ボタンをタップします。**

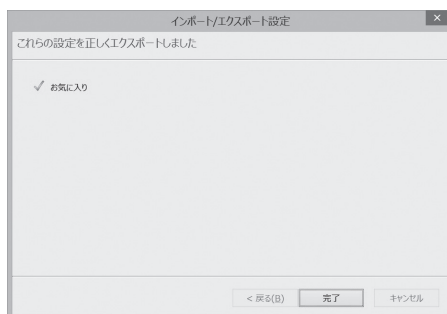
【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。

5. **［参照］ボタンをタップします。**

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。

6. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、［保存］ボタンをタップします。**

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログに戻ります。

7. **［エクスポート］ボタンをタップします。**

手順3で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、［次へ］ボタンをタップしてください。
表示される画面の設定方法は、手順5～6と同じです。

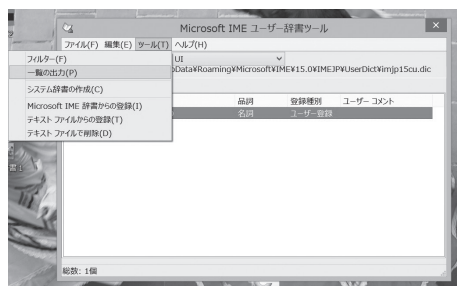
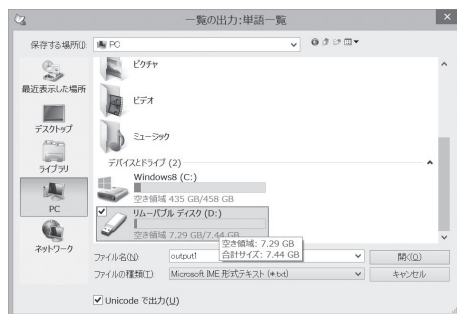
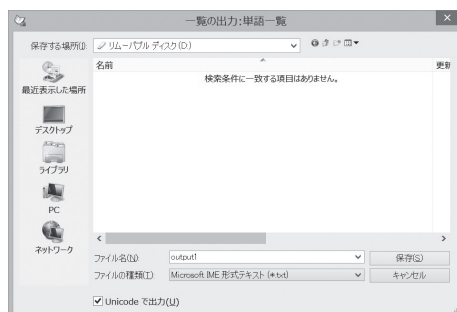
終了すると、【これらの設定を正しくエクスポートしました】ダイアログが表示されます。

8. **［完了］ボタンをタップします。**

以上で『お気に入り』のバックアップは完了です。

■ ユーザー辞書のバックアップ

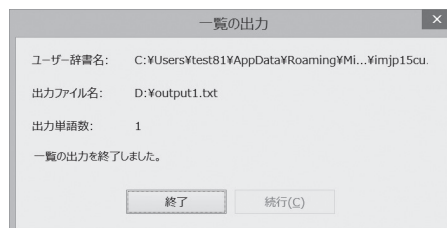
現在使用しているユーザー辞書は、次の手順でバックアップを作成します。

1. **デスクトップ画面下のタスクバー右にあるIMEアイコン(「A」もしくは「あ」と表示されている部分)を長押しし、「ユーザー辞書ツール」をタップします。**

「Microsoft IME ユーザー辞書ツール」が表示されます。

2. **「ツール」→「一覧の出力」をタップします。**
「一覧の出力：単語一覧」ダイアログが表示されます。

3. **「PC」をタップし、表示される一覧から外部記録メディアを開きます。**

4. **任意のファイル名を入力して、「保存」ボタンをタップします。**
「一覧の出力を終了しました」ダイアログが表示されます。

5. 「終了」ボタンをタップします。

ファイル名は必ず変更してください。

以上でユーザー辞書のバックアップ作成は完了です。

- **お客様がデスクトップや「ドキュメント」フォルダーに保存したデータについては、あらかじめ外部メディアに保存しておいてください。**

以上のバックアップが終了すれば、リカバリーをおこなってください。

データの復元

ここでは、あらかじめ、リカバリーをおこなった後にアプリケーションソフトや「データのバックアップ」で保存ておいた各データなどを復元する方法を説明します。

■ アプリケーションソフトの設定

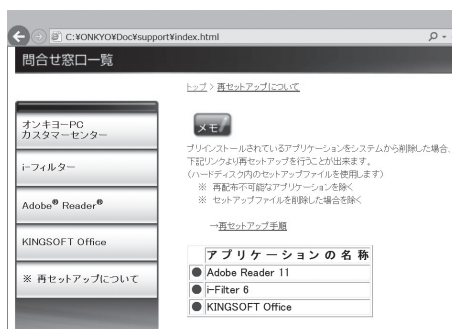
リカバリーをおこなうと、アプリケーションソフトは自動的に工場出荷時状態へ復元されますが、必要に応じ、アプリケーションソフトを再インストールしてください。
本製品に付属のアプリケーションソフトは、「ONKYO問合せ窓口一覧」の「※再セットアップについて」からインストールします。

1. **デスクトップにある、「ONKYO問合せ窓口一覧」アイコンをダブルタップします。**
【ONKYO問合せ窓口一覧】が起動します。

2. **左側の［※再セットアップについて］をタップします。**

3. **表示される一覧から、復元するアプリケーションソフトの横にある●をタップします。**

4. **画面の指示にしたがってインストールをおこないます。**

本製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトは、別途インストールしてください。

■ バックアップしたファイルを復元する

あらかじめ外部メディアに保存しておいた、デスクトップや「ドキュメント」フォルダーにあったデータを、バックアップ前と同じ場所に戻してください。

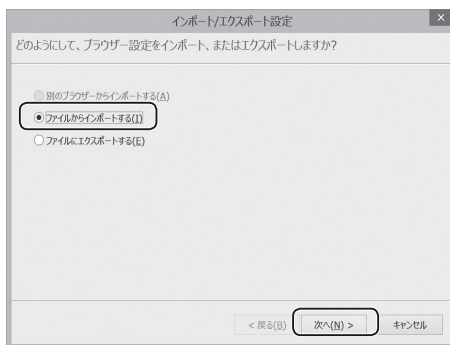
■『お気に入り』を元に戻す

Internet Explorerの『お気に入り』を復元します。

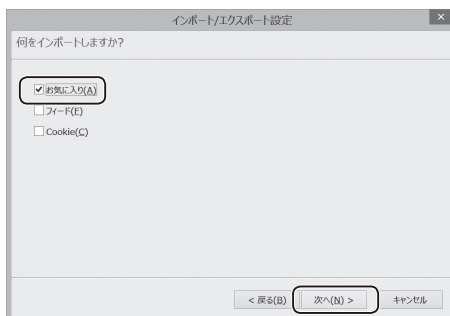
1. **Internet Explorerが起動した状態で、☆ボタンをタップし、お気に入りに追加 ▾ の ▾ をタップして表示されるメニューから［インポートおよびエクスポート］を選択します。**
【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。

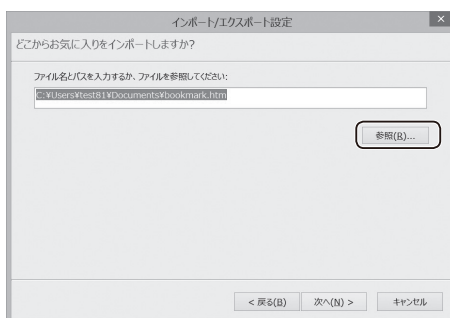
名称と機能
各機能のON／OFF
使用する
トラブルの対応

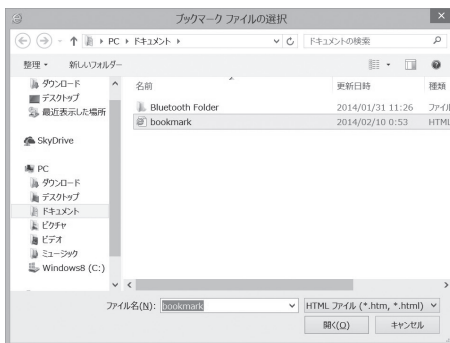
2. **[ファイルからインポートする] を選択して、[次へ] ボタンをタップします。**

【何をインポートしますか？】ダイアログが表示されます。

3. **[お気に入り] をチェックして、[次へ] ボタンをタップします。**

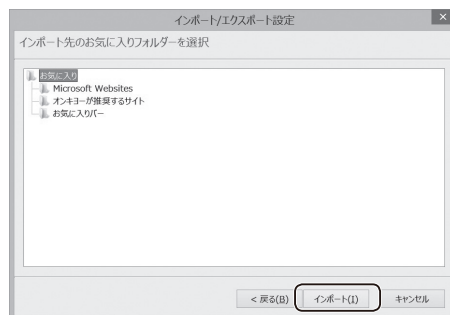
【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログが表示されます。

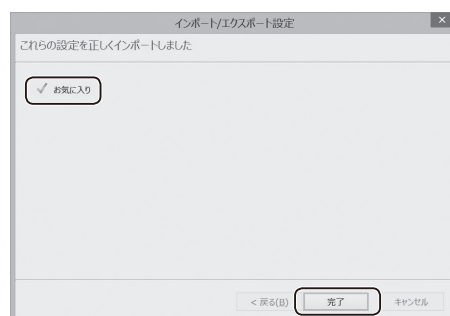
「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをインポートできます。

4. **[参照] ボタンをタップします。**

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。

5. **バックアップをとったお気に入りファイルを選択して、[開く] ボタンをタップします。**

【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログに戻ります。

6. **［次へ］ボタンをタップします。**

【お気に入りのインポート先フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。

手順3で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、［次へ］ボタンをタップしてください。
表示される画面の設定方法は、手順4～6と同じです。

7. **「お気に入り」フォルダーを選択して、［インポート］ボタンをタップします。**

終了すると、【これらの設定を正しくインポートしました】ダイアログが表示されます。

8. **［完了］ボタンをタップします。**

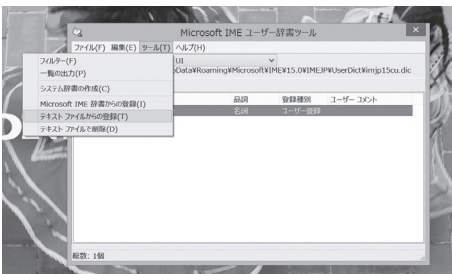
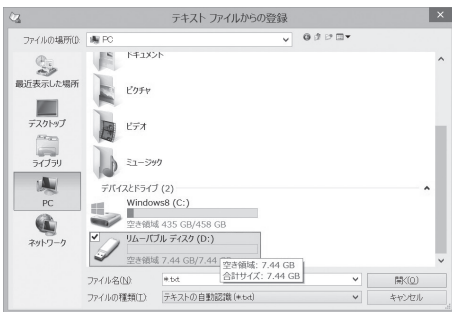
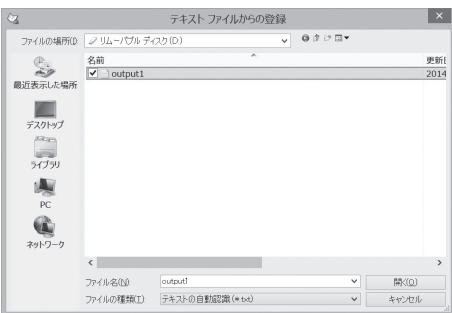
以上で『お気に入り』の復元は完了です。

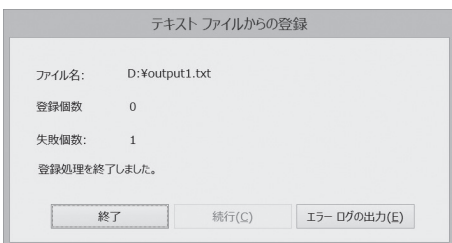
■ ユーザー辞書の復元

ユーザー辞書を、次の手順で復元します。

1. **デスクトップ画面下のタスクバー右にあるIMEアイコン(「A」もしくは「あ」と表示されている部分)を長押しし、「ユーザー辞書ツール」をタップします。**

「Microsoft IME ユーザー辞書ツール」が表示されます。

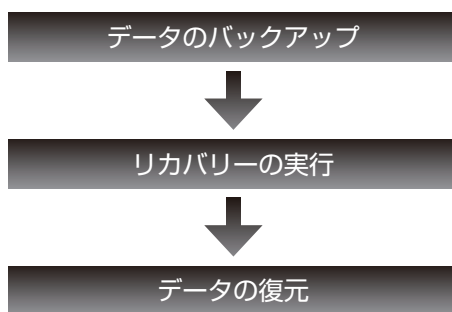
2. **「ツール」→「テキストファイルからの登録」をタップします。「テキストファイルからの登録」ダイアログが表示されます。**

3. **「PC」をタップし、表示される一覧から外部記録メディアを開きます。**

4. **バックアップをとったユーザー辞書ファイルを選択して、「開く」ボタンをタップします。「登録処理を終了しました」ダイアログが表示されます。**

5. **[終了] ボタンをタップします。**

以上でバックアップの読み込みは完了です。

リカバリーの方法

ハードディスク（またはSSD）内にあるリカバリー領域を使用して、パソコンを復旧します。
リカバリーを実行すると、ハードディスク（同）のお客様のデータはすべて消え、工場出荷時の状態に戻ります。消えたデータは復旧できませんので、あらかじめハードディスク（同）のデータのバックアップをとってからおこないましょう。

リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスク（またはSSD）の内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスク（同）のデータを外部メディア（USBメモリー、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデータを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。

- **リカバリーを実行するときは、必ず本機にACアダプターを接続してください。リカバリーの実行中にバッテリーが切れると、Windowsのデータが破損する恐れがあります。**
- **リカバリー中は、電源を切らないでください。または、リカバリーは途中で中止しないでください。**

リカバリーの手順

本製品にプリインストールされているWindows 8.1は、ハードディスク（またはSSD）リカバリーができます。ハードディスク（同）リカバリーは、以下の手順にしたがっておこなってください。

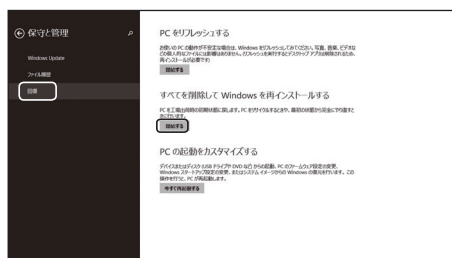
1. **「チャームバー」→「設定」をタップします。**

「設定」メニューが表示されます。

2. **「PC設定の変更」→「保守と管理」をタップします。**

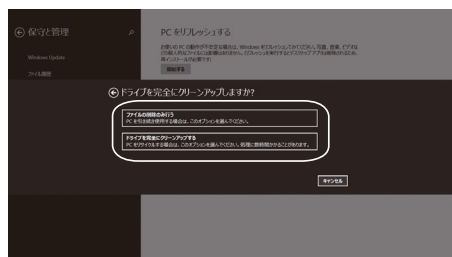
【保守と管理】画面が表示されます。

3. ［回復］をタップして表示される画面で「すべてを削除してWindowsを再インストールする」の［開始する］をタップします。

【PCを初期状態に戻す】ダイアログが表示されます。

4. ［次へ］をタップします。

【ドライブを完全にクリーンアップしますか？】ダイアログが表示されます。

5. 「ファイルの削除のみ行う」または「ドライブを完全にクリーンアップする」をタップします。

【PCを初期状態に戻す準備ができました】ダイアログが表示されます。

・「ファイルの削除のみ行う」を選択すると、短時間でリカバリーを完了します。
・「ドライブを完全にクリーンアップする」を選択すると、ハードディスク（またはSSD）からファイルを完全に削除するためセキュリティは高まりますが、リカバリーに数時間かかる場合があります。その間、画面に「ONKYO」ロゴが表示され続けますが、決して電源を切らないでください。

6. ［初期状態に戻す］をタップします。

リカバリーが開始されます。

リカバリーが完了すると、Windows 8.1のセットアップ画面が表示されます。

BIOSを設定する

ここではBIOSの概要と、BIOSを設定するための「BIOSセットアッププログラム」の操作概要について説明します。BIOSの詳しい操作方法については、デスクトップ上にある「BIOSセットアップマニュアル」のショートカットをタップし、参照してください。

・デスクトップ上にある「BIOSセットアップマニュアル」のショートカットをタップし、参照してください。

・BIOSを設定するには、別売のUSB対応外付けキーボードとマウスを接続する必要があります。
・BIOSの設定は複雑で、誤った設定をしてしまうと、本機が正常に動かなくなる恐れがあります。特に理由もなくBIOSの設定を変更しないでください。

BIOSとは

"BIOS"とは「Basic Input Output System」の略称で、パソコンを動作させるためのプログラムです。このBIOSの設定を正しくおこなうことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本機ではあらかじめ、最適の状態でBIOSが設定されています。ただし、本機の拡張などをおこなった際には、拡張する機器に合わせてBIOSの設定を変更する必要があります。

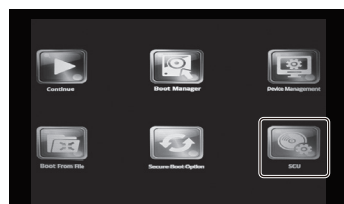
BIOSセットアッププログラムの起動方法（概要）

BIOSセットアップの詳しい操作方法については、BIOSセットアップマニュアルを参照してください。デスクトップ上にある「BIOSセットアップマニュアル」のショートカットをタップし、参照してください。

1. **本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。**

2. **"ONKYO" のロゴが入った画面が表示されたら、すぐに Esc キーを押します。**

3. **BIOSメニューのUI（ユーザーインターフェイス）が表示されます。このときタッチパネルは使えませんので、外付けキーボード、もしくはマウスで操作してください。**

4. **表示されたメニュー内の "SCU" アイコンをクリック、またはキーボードの上下左右キーでSCUアイコンへ移動し、Enter キーを押します。**

BIOSセットアップユーティリティーが起動します。

Windowsが起動してしまった場合、パソコンの電源をOFF（シャットダウン）にして再度上記手順をおこなってください。

BIOSセットアッププログラムは、次のキーを使って操作します。

キー	操作
← → キー	・メインメニューの項目を左右に移動する
↑ ↓ キー	・項目を上下に移動する ・設定値を変更する
Enter キー	・サブメニューへ移動する ・項目選択時、別ウィンドウを開く/閉じる
Esc キー	・BIOSセットアッププログラムを終了する ・前メニューに戻る（サブメニューの場合） ・ウィンドウを閉じる（別ウィンドウが開いている場合）

保証書

●この製品には別途保証書が付属されていますのでお確かめください。
●保証書にある保証規定をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

サポートサービス

●オンキヨーPCカスタマーセンターでは、製品をご購入いただいたお客様からの技術的なご質問や、修理のお申し込みを受け付けています。修理の場合、お問い合わせの前に、☞ 別冊のセットアップガイドの「修理について」もご覧下さい。

オンキヨーPCカスタマーセンター

0570-001134

9:30～18:00(土日祝祭日、当社指定休業日を除く)
(システムメンテナンスのため受付を休止させていただく場合があります。)

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※一部のPHS、IP電話からかけられない場合がございます。その場合は、お手数ではございますが固定電話でおかけ直しください。
※電話番号は、おかけ間違いのないようご注意ください。

0570-001134(ナビダイヤル)に電話します。
電話回線の確認をおこないます。音声ガイダンスに従い ✻(こめ)と 1 をプッシュします。

プッシュ回線

ご購入後30日以内のハードウェアの不具合、付属品の不足などの場合、3 をプッシュします。

ご購入後1年以内の場合は 2 をプッシュします。(無償サポート)

ご購入後1年を越える場合は 1 をプッシュします。

1 有償サポート

製品をご購入1年を超える場合には、有償にてサポートを承ります。

修理をご希望のお客様は 1 をプッシュします。

有償サポートをお申込みのお客様は 2 をプッシュします。

有償サポートご利用料金:
お問合せ1件 2,500円(税込)

ダイヤル回線

ダイヤル回線の場合、電話機をプッシュ回線に切り替えてください。変更できない場合そのままお待ちください。

オペレータに電話がつながります。
保証書をお手元にご用意ください。

オペレータから、以下の情報をお伺いします。
・製品名
・製造番号(Serial No.)
・お買い上げ年月日
・ご購入店名

お困りの点についてお伝えください。
診断の結果、緊急修理、欠品付属品送付等を含むサポート対応をさせていただきます。

本製品の廃棄について

・本製品をご家庭から排出する場合
本製品は、PCリサイクル対象外であり、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

・本製品が事業者から排出される場合（産業廃棄物として廃棄される場合）
当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html

・本書の仕様、情報（本製品、ソフトウェアを含む）は予告なしに変更される場合があります。
・本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。
ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
・本製品にあらかじめインストールされているWindows 8.1 以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。

・本製品で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
・本製品は、人命にかかわる設備や機器（医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など）や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。
これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

・Intel、インテル、Intelロゴ、Intel Insideロゴ、Intel Core、Core Inside、Celeron、Atomはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
・Microsoft、Windows及びWindowsロゴ、Windows Media、Internet Explorer、Excel、PowerPointはマイクロソフト企業グループの商標です。
・Bluetoothは米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標であり、オンキヨーデジタルソリューションズはライセンスに基づき使用しています。
・その他記載されている会社名、製品名、規格名は各社の商標もしくは登録商標です。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO®

オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社

〒107-0062　東京都港区南青山3丁目1番7号　青山コンパルビル

P1410

DC1188_90A